



ideal Picture アイデアリアル ピクチャー

10月12日(土)~11月10日(日) / the bridgeオルタナティブスペース

“写す”をテーマにした企画展。写真、映像、グラフィックや版画などといった複製や版に関連した作品を中心に展示します。会場は、旧フンドーキン醤油倉庫だった地をリノベーションし、アート系オルタナティブスペースとなった場所。この空間と会場雰囲気を活かした現代的なアート展示イベントとなります。また、10月26日(土)には大分市美術館館長の菅章氏をモデレーターに迎え、出展者らとシンポジウム「メディアコピーとアブラー「写す」芸術とは？」を開催します。

Q.1

今年の1月~2月にかけて構想を練り、ある程度の企画を立てた後は、個人で作品の制作にとりかかりました。現在、制作の真っ最中です。

Q.2

本学講師の先生を中心に、他大学の先生にも参加して頂いています。プロとして制作されている方4名と学生、他大学との交流の機会でもあります。

Q.3

10月に向けて、良い展示会を作り上げる為に準備を進めています。見に来て下さるみなさんがこの展示会で様々な形を見せる「Picture」という言葉をどのように受けとめて下さるのかとても楽しみです。また、手頃なサイズの作品を販売します。美術をコレクションする機会にもなりますので「Ideal Picture」に是非お越し下さい。

オペラサークルOpera Piena di Vita本公演 オペラ「魔笛」

12月18日(水) / 本学 音楽棟 小ホール



音楽科 声楽コースの学生たちを中心に生まれたオペラサークル、オペピことOpera Piena di Vitaによる公演。学生自らが企画・演出を行っており、毎回多くの感動をよんでいます。第17回目となる今回は、モーツァルトのジグシュピールの代表作「魔笛」を歌唱をドイツ語、セリフを日本語で上演します。

Q.1

今年の6月上旬からはじめました。台本作り、全体の流れを設定するところから、配役ごとの歌の練習、劇中のセリフや歌にあった表現・動作をつけての練習、そして大道具・小道具・衣装作りまで、すべてを自分たちで行っています。

Q.2

オペラサークルのメンバー23人程度です。

Q.3

歌はもちろんのこと劇もあり、オペラを観るのが初めての方もそうでない方も聴いて、観て楽しめる内容となっています！素敵な音楽にあふれた幸せなひとときをお届けします。入場料は無料です！ぜひお越しください！

▲音楽科2年 中井加奈さん



第4回 大分国際車いすマラソン交流イベント「大分から世界へ、廣道純選手の挑戦」

10月18日(金) / 本学 人文棟 大講義室



毎年、「大分国際車いすマラソン大会」の時期にあわせて国際文化学科と国際総合学科が中心となって行われるイベント。レースに参加する著名なアスリート達を招いてパネルディスカッションやトークショーを開催しています。4回目となる今回は、パラリンピックや国際大会で活躍する大分在住の廣道純選手をお招きし、その活躍や経験、車いす競技のやりがいなどについて語ってまいります。また、これと連動して「大分国際車いすマラソン大会」でのボランティア参加もしています。



▲国際文化学科2年 河野由芽さん

Q.1

昨年引き続き、「大分国際車いすマラソン通訳ボランティア会 Can-do」の代表の方と4月から今年の大会参加に向けて話し合いをしてきました。廣道純選手に講師を依頼したのは5月でした。ボランティア通訳に参加する学生は、6月に第1回目の研修に参加し、車いすマラソンについての勉強や車いすとその関連グッズの取り扱いについての指導を受けました。大会までに、合計3回の研修会に参加する予定です。また、大会当日に応援団として参加するメンバーは、応援幕作りなどに取ります。

Q.2

アメリカ研究卒業生8名とESSサークル「Julie's Friends」のメンバー5名で行っています。

Q.3

私は昨年の「大分国際車いすマラソン大会」に通訳ボランティアとして参加しました。アメリカの選手の担当をし、レース前後のお世話や通訳、また英語での会話も楽しめました。この経験を通して、自分の英語力のなさを実感し、日々英語の勉強に力を入れています。今年はスペインの選手を担当するので、スペイン語も少し勉強し、少しでも会話ができるくらいに頑張っています。廣道選手の講演会は私も楽しみです。ぜひ、みなさまもプロアスリートによる生の声を聞きに来て下さい！

めくるめく、芸術と文化の祭典 “芸短フェスタ”開催!

本学では、毎年恒例で10月から12月までの3カ月間を芸術文化月間とし、県民のみなさまに広く芸術文化と本学の魅力を知っていただくため「芸短フェスタ」を開催しています。今年度は1月まで期間を延長、さらにパワーアップした内容のイベントを行います！今特集では目玉イベントに注目、準備・練習に奔走する学生を直撃しました。

- Q.1 イベント準備は、いつ頃から、どのようなことをしていますか
- Q.2 何人体制で企画・運営していますか
- Q.3 イベントのPRをどうぞ!



第49回 定期演奏会

10月14日(月・祝) / Ichikoグラシアタ / 入場料500円

定期演奏会は、演奏はもちろん、曲解説、当日のスタッフ等、音楽科学生、卒業生、教職員全員が一丸となって作り上げていく、芸短最大規模の演奏会です。毎年、主体にするコースを声楽コース、ピアノコース、管弦打コースの順で行っており、今年は管弦打の年なので、オーケストラがメインとなっています。また、今年で生誕200年を迎えるワーグナーとヴェルディの作品も取り入れており、充実したプログラムになっています。

Q.1

5月中旬から、オーケストラの授業での練習を本格的に開始しました。授業では、指揮の森口真司先生の指導のもと、合奏練習を主にしています。ほかにも学生だけで自主的に個人練習やパート練習をしており、夏休みには学生のみで管打楽器と弦楽器に分かれて行う分奏を行いました。

Q.2

オーケストラは総勢約130名、合唱団は合唱授業を選択している学生約100名で主に進めています。

Q.3

この定期演奏会は、私たちの日頃の練習の成果を発揮できる場でもあり、独奏とは違い大人数で演奏するので、演奏を通じて団結力やチームワークを発揮できると良いなと考えています。お客様に感動を味わって頂けるような演奏会にしたいと思いますので、ぜひご来場ください。

保戸島映像音楽祭2013

11月3日(日・祝)、4日(月)
保戸島小中学校体育館、安藤会館1階ホール

津久見市出身の学生が中心となって、市のアピール・活性化を目指したイベント。学生自らが出演・撮影・制作を行った短編映画の上映や、島民のみなさまからの要望に応えた保戸島出身のソプラノ歌手・清家麻衣さんによるソプラノコンサートを開催します。また、同月11月24日(日)~30日(土)には、津久見市図書館にて写真展も行います。



Q.1

去年の6月、下川ゼミ1年生で保戸島の撮影に行ったのがきっかけでした。11月に開いた写真展は好評で、島民1,000人のうち3分の1の方々に会場へ来て頂きました。そして今年は島の方々に清家麻衣さんのコンサートを聞いてほしい、との要望があり、実現に向けて準備を進めています。今年の5月に稚児行列の取材に行き、7月の夏祭りでは取材のほか、イサキのつかみどり大会・ウォーターボール・演芸大会などのイベントにも参加し、地元の方々と交流を深めました。そして、島民のみなさまのご好意で、学生は民家に宿泊しました。8月には盆踊りの撮影を行い、9月には1週間泊まり込みで短編映画の撮影を行う予定です。

Q.2

2年生の葉真寺亜衣と川野亜弥が事務局になり、学生20人が中心となって行っています。保戸島でも保戸島住民による「保戸げんき会」を発足しました。

Q.3

昨年の「保戸島マルチ島写真展」に引き続き、今年11月3日、保戸島出身・ソプラノ歌手清家麻衣さんによる「里帰りコンサート」を開きます。その他にも、マルチ写真展、保戸島で撮影する短編映画上映、顔抜きパネル除幕式、保戸島の伝統遊びなどを予定しています。保戸島の魅力がいっぱい詰まったイベントとなっていますので、ぜひお越しください!



▲情報コミュニケーション学科2年 葉真寺亜衣さん、川野亜弥さん